

intra-mart WebPlatform/AppFramework Ver.7.2

BPM|Server 設定ガイド

2010/04/01 初版

<< 変更履歴 >>

変更年月日	変更内容
2010/04/01	初版

<< 目次 >>

1	はじめに.....	1
1.1	用語解説.....	1
2	設定ファイル.....	2
2.1	設定ファイルの種類.....	2
2.2	設定ファイルの編集に関する注意点.....	2
3	機能と設定.....	3
3.1	iWP/iAFの機能と設定.....	3
3.1.1	bpms-config.xml.....	3
3.1.2	service-config-bpw.xml.bpmslist.....	9
3.1.3	progress.ini.....	12
3.1.4	task.ini.....	16
3.1.5	survey_config.ini.....	25
3.2	BPM Serverの機能と設定.....	41
3.2.1	http.xml, ode-axis2.properties.....	41
3.2.2	im-config.properties.....	44
3.2.3	logger.xml.....	45
3.2.4	ode-axis2.properties.....	46
3.3	分散環境における機能と設定.....	48
3.3.1	分散環境における設定.....	48
3.3.2	ode-axis2.properties.....	48
3.3.3	cluster-config.xml.....	49
3.3.4	deploy-service.xml.....	50
3.3.5	http.xml.....	51
3.4	パフォーマンスに関する機能と設定.....	52
3.4.1	ode-axis2.properties.....	52
3.4.2	http.xml.....	53
3.4.3	imart.xml.....	54
3.5	BAM ダッシュボードの設定.....	55
3.5.1	設定項目.....	55
3.6	クローンベースのクリーンアップ機能と設定.....	56
3.6.1	schedules.xml.....	56

1 はじめに

本ドキュメントは、IM-BPM をご利用になられる方のための設定手引書です。IM-BPM では、intra-mart WebPlatform/AppFrameWork と BPM|Server を使用します。次章以降、これらの設定について説明します。

1.1 用語解説

BPM Server	BPM のプロセスを実行するサーバです。以下、本サーバのインストールディレクトリを<%BPM Server%>と略します。 また、BPM Server の IP アドレスを<%BPMS_HTTP_ADDRESS%>、ポートを<%BPMS_HTTP_PORT%>と略します。
intra-mart WebPlatform/AppFramework	以下、iWP/iAF と略します。 また、iWP/iAF の IP アドレスを<%IWP_IAF_HTTP_ADDRESS%>、ポートを<%IWP_IAF_HTTP_PORT%>、コンテキストパスを<%IWP_IAF_HTTP_CONTEXT%>と略します。
intra-mart Server Manager	システム全体を管理するサーバです。以下、本サーバのインストールディレクトリを<% imSM %>と略します。
Application Runtime	アプリケーションの実行エンジンです。以下、本エンジンのインストールディレクトリを<% AppRuntime %>と略します。
Resource Service	プログラムファイルを管理するサービスです。以下、本サービスのインストールディレクトリを<% ResourceService %>と略します。

2 設定ファイル

2.1 設定ファイルの種類

iWP/iAF と BPM|Server は、目的別に複数個の設定ファイルを持っています。それぞれの設定ファイルについて十分に理解した上で、設定を編集して下さい。

■ iWP/iAF

conf/bpms-config.xml	画面表示制御、BPM Server の情報取得に関する設定ファイル
doc/imart/WEB-INF/classes/service-config-bpw.xml.bpmslist doc/imart/WEB-INF/classes/service-config-bpw.xml	IM-BPM 画面タブ表示に関する設定ファイル
pages/platform/src/bpms/view/progress/progress.ini	[進捗一覧]画面などの表示に関する設定ファイル
pages/platform/src/bpms/view/task/task.ini	[プロセス一覧]画面などの表示に関する設定ファイル
pages/platform/src/bpms/survey/survey_config.ini	[成熟度調査]画面などの表示に関する設定ファイル

■ BPM|Server

conf/http.xml	BPM Server の http サービス部に関する設定ファイル。但し、ここではデータベース接続に関する設定についてのみの解説となります。その他の設定項目については、別冊「intra-mart WebPlatform –設定ガイド(HTTP 編)」を参照ください。
conf/imart.xml	BPM Server の起動に関する設定ファイル。但し、ここではヒープサイズの調整に関する設定についてのみの解説となります。その他の設定項目については、別冊「intra-mart BPM Server 設定ガイド」を参照ください。
conf/ode-axis2.properties	データベース接続に関する設定ファイル
conf/im-config.properties	iWP/iAF の認証、権限に関する設定ファイル
conf/cluster-config.xml	クラスタリングに関する設定ファイル
conf/deploy-service.xml	デプロイ処理に関する設定ファイル
conf/log/im_logger.xml conf/log/im_logger_bpms.xml conf/log/im_logger_memory.xml conf/log/im_logger_network.xml	ログ出力に関する設定ファイル

2.2 設定ファイルの編集に関する注意点

設定ファイルを編集した場合、その変更内容をサーバの動作に反映させるには、該当するサーバの再起動が必要です。すでにサービスの運用を開始している環境に対して設定ファイルを編集する場合は、メンテナンス時間を設けて全てのサーバを停止した後に作業を行うようにしてください。運用中のサーバに対して設定ファイルを編集することや、ネットワーク連携しているサーバのうち、1つまたはすべてではない複数のサーバに関してのみ(他のサーバは運用を継続)設定を変更した場合、予期せぬエラーの原因となることがあります。

3 機能と設定

3.1 iWP/iAFの機能と設定

ここでは、iWP/iAFの持つ具体的な機能とその設定項目について説明します。

3.1.1 bpms-config.xml

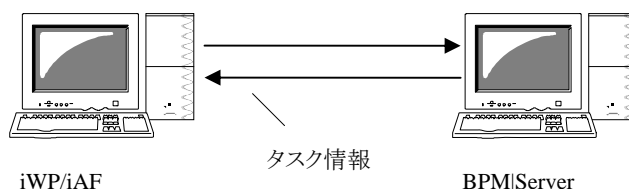
■ <% imSM %>/conf/bpms-config.xml

bpms-config.xmlでは、以下の機能についての設定を行います。

- ① タスク情報の取得
- ② プロセス情報の取得
- ③ IM-BPM画面表示(iWP/iAF画面、[BPM|Console]画面、xForm)
- ④ ワークフローコネクタに関する設定
- ⑤ メールコネクタに関する設定

以降、bpms-config.xmlで提供する機能と設定項目について説明します。

3.1.1.1 タスク情報の取得



iWP/iAFでは、トークンを生成し、BPM|Serverからタスク情報を取得します。

タスク情報取得時において、BPM|Server側ではiWP/iAFから送られてきたトークンを使用して、iWP/iAFから呼び出されるWebサービスの正当性のチェックを行います。また、BPM|Serverから取得したタスク情報は、iWP/iAFの以下の画面に表示されます。

- タスク情報を表示する画面
 - ・ [プロセス一覧]画面
 - ・ [未処理案件一覧]画面
 - ・ [処理済案件一覧]画面
 - ・ [通知一覧]画面

3.1.1.1.1 設定例

設定例を以下に示します。

■ Web サービスを使用した場合

bpms-config.xml 設定例

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<bpms-config xmlns="http://bpms.intra-mart.co.jp/bpms-config">
...
  <task-manager>
    <service-factory-class>jp.co.intra_mart.foundation.bpms.task.TaskManagementServiceFactoryWSImpl
  </service-factory-class>
    <init-param>
      <param-name>task.management.service.endpoint</param-name>
      <param-value>http://localhost:8080/axis2/services/TaskManagementServices</param-value>
    </init-param>
    <init-param>
      <param-name>complete.task.endpoint</param-name>
      <param-value>http://localhost:8080/ode/processes/completeTask</param-value>
    </init-param>
  </task-manager>
  <token-manager>
    <service-factory-class>jp.co.intra_mart.foundation.bpms.token.TokenServiceFactoryLocalImpl
  </service-factory-class>
    <init-param>
      <param-name>secret</param-name>
      <param-value>mySecret</param-value>
    </init-param>
  </token-manager>
...
</bpms-config>
```

■ データベースを使用した場合

bpms-config.xml 設定例

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<bpms-config xmlns="http://bpms.intra-mart.co.jp/bpms-config">
...
  <task-manager>
    <service-factory-class>jp.co.intra_mart.foundation.bpms.task.TaskManagementServiceFactoryDataSourceImpl
  </service-factory-class>
    <init-param>
      <param-name>task.management.service.endpoint</param-name>
      <param-value>http://localhost:8080/axis2/services/TaskManagementServices</param-value>
    </init-param>
    <init-param>
      <param-name>complete.task.endpoint</param-name>
      <param-value>http://localhost:8080/ode/processes/completeTask</param-value>
    </init-param>
    <init-param>
      <param-name>tasks.dao.factory.class</param-name>
      <param-value>jp.co.intra_mart.foundation.bpms.task.TasksDAOFactoryOracle11gImpl</param-value>
    </init-param>
    <init-param>
      <param-name>jndi.name</param-name>
      <param-value>java:comp/env/jdbc/BPMSDB</param-value>
    </init-param>
  </task-manager>
  <token-manager>
    <service-factory-class>jp.co.intra_mart.foundation.bpms.token.TokenServiceFactoryLocalImpl
  </service-factory-class>
    <init-param>
      <param-name>secret</param-name>
    </init-param>
  </token-manager>
...
</bpms-config>
```

```

    <param-value>mySecret</param-value>
  </init-param>
</token-manager>

...

</bpms-config>

```

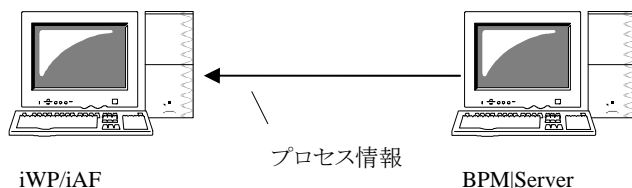
3.1.1.1.2 設定項目

設定項目を以下に示します。

キー	値
task.management.service.endpoint	http://<%BPMS_HTTP_ADDRESS%>:<%BPMS_HTTP_PORT%>/axis2/services/TaskManagementServices
complete.task.endpoint	http://<%BPMS_HTTP_ADDRESS%>:<%BPMS_HTTP_PORT%>/ode/processes/completeTask
tasks.dao.factory.class	DB2 の場合: jp.co.intra_mart.foundation.bpms.task.TasksDAOFactoryDB2Impl Oracle の場合: jp.co.intra_mart.foundation.bpms.task.TasksDAOFactoryOracle10gImpl jp.co.intra_mart.foundation.bpms.task.TasksDAOFactoryOracle11gImpl PostgreSQL の場合: jp.co.intra_mart.foundation.bpms.task.TasksDAOFactoryPostgreSQLImpl
jndi.name	BPMS で利用されるデータベースへの接続を定義したデータソースの JNDI 名を指定します。 通常、JNDI 名を変更する必要はありません。 java:comp/env/jdbc/BPMSDB また、データベースを直接参照する設定を行う場合、必ずデータソースの設定を行う必要があります。 データソースの設定方法に関しては、別紙 Web プラットフォーム設定ガイドを参照して下さい。

- キー「task.management.service.endpoint」には、BPM|Server の IP アドレスとポートを指定します。
- キー「complete.task.endpoint」には、BPM|Server の IP アドレスとポートを指定します。

3.1.1.2 プロセス情報の取得



iWP/iAF の[進捗一覧管理]画面では、BPM|Server からプロセス情報を取得し、プロセス情報が削除可能な状態であるかの判定を行います。プロセスが削除可能な状態であった場合、進捗一覧からプロセス情報を削除します。

3.1.1.2.1 設定例

設定例を以下に示します。

bpms-config.xml 設定例

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<bpms-config xmlns="http://bpms.intra-mart.co.jp/bpms-config">
...
  <process-instance-manager>
    <service-factory-class>jp.co.intra_mart.foundation.bpms.notice_progress.NoticeProgressInstanceServiceFactoryImpl
  </service-factory-class>
  <init-param>
    <param-name>process.instance.service.endpoint</param-name>
    <param-value>http://localhost:8080/ode/services/InstanceManagement</param-value>
  </init-param>
  <init-param>
    <param-name>complete.status</param-name>
    <param-value>COMPLETED,TERMINATED,FAILED</param-value>
  </init-param>
  </process-instance-manager>
...
</bpms-config>
```

3.1.1.2.2 設定項目

設定項目を以下に示します。

キー	値
process.instance.service.endpoint	http://<%BPMS_HTTP_ADDRESS%>:<%BPMS_HTTP_PORT%>/ode/services/InstanceManagement

- キー「process.instance.service.endpoint」には、BPM|Server の IP アドレスとポートを指定します。

3.1.1.3 IM-BPM画面表示

IM-BPM で使用する画面表示に関する設定ファイルです。以下の画面表示に関する情報を設定します。

- ① xForm から iWP/iAF 画面表示
- ② [BPM|Console]画面表示
- ③ xForm 画面表示
- ④ フローダイアグラム画面表示

3.1.1.3.1 設定例

設定例を以下に示します。

bpms-config.xml の設定例

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<bpms-config xmlns="http://bpms.intra-mart.co.jp/bpms-config">
  <intramart-url>http://localhost:8081/imart</intramart-url>      ...①
  <bpms-url>http://localhost:8080</bpms-url>                  ...②
  <xforms-manager-url>http://localhost:8080/xFormsManager</xforms-manager-url>      ...③
  <console-diagram-url>http://localhost:8080/bpms-console/diagrams</console-diagram-url>      ...④
  ...
</bpms-config>
```

3.1.1.3.2 設定項目

設定項目を以下に示します。

タグ	値
intramart-url	http://<%IWP_IAF_HTTP_ADDRESS%>:<%IWP_IAF_HTTP_PORT%>/<%IWP_IAF_HTTP_CONTEXT%>
bpms-url	http://<%BPMS_HTTP_ADDRESS%>:<%BPMS_HTTP_PORT%>
xforms-manager-url	http://<%BPMS_HTTP_ADDRESS%>:<%BPMS_HTTP_PORT%>/xFormsManager
console-diagram-url	http://<%BPMS_HTTP_ADDRESS%>:<%BPMS_HTTP_PORT%>/bpms-console/diagrams

- <intramart-url>タグには、iWP/iAF の IP アドレス、ポート、コンテキストルートを指定します。
- <bpms-url>タグには、BPM|Server の IP アドレス、ポートを指定します。
- <xforms-manager-url>タグには、BPM|Server の IP アドレス、ポートを指定します。
- <console-diagram-url>タグには、BPM|Server の IP アドレス、ポートを指定します。

3.1.1.3.2.1 分散環境における設定

iWP/iAF を分散環境で構築した場合、IWP_IAF_HTTP_ADDRESS 及び IWP_IAF_HTTP_PORT には Web サーバコネクタ、またはロードバランサの IP アドレス、またはホスト名及びポート番号を指定します。

BPM|Server を分散環境で構築した場合、BPMS_HTTP_ADDRESS 及び BPMS_HTTP_PORT には Web サーバコネクタ、またはロードバランサの IP アドレス、またはホスト名及び、ポート番号を指定します。

3.1.1.4 ワークフローコネクタに関する設定

ワークフローコネクタに関する設定です、編集可能な項目はありません。

3.1.1.4.1 設定項目

設定項目を以下に示します。

タグ	値
workflow-task-manager	ワークフローコネクタに関する設定要素です。
service-factory-class	ワークフローコネクタ用データ連携実装クラスを指定します。 代替のクラスは提供されていません。

3.1.1.5 メールコネクタに関する設定

メールコネクタに関する設定です。

3.1.1.5.1 設定例

設定例を以下に示します。

bpms-config.xml の設定例

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<bpms-config xmlns="http://bpms.intra-mart.co.jp/bpms-config">
  ...
  <email-connector>
    <failonerror>true</failonerror>
  </email-connector>
  ...
</bpms-config>
```

3.1.1.5.2 設定項目

設定項目を以下に示します。

タグ	値
email-connector	メールコネクタに関する設定要素です。
failonerror	true を設定した場合メール送信に失敗した場合、エラーとします。 false が設定された場合はメール送信に失敗した場合でも処理は継続されます。

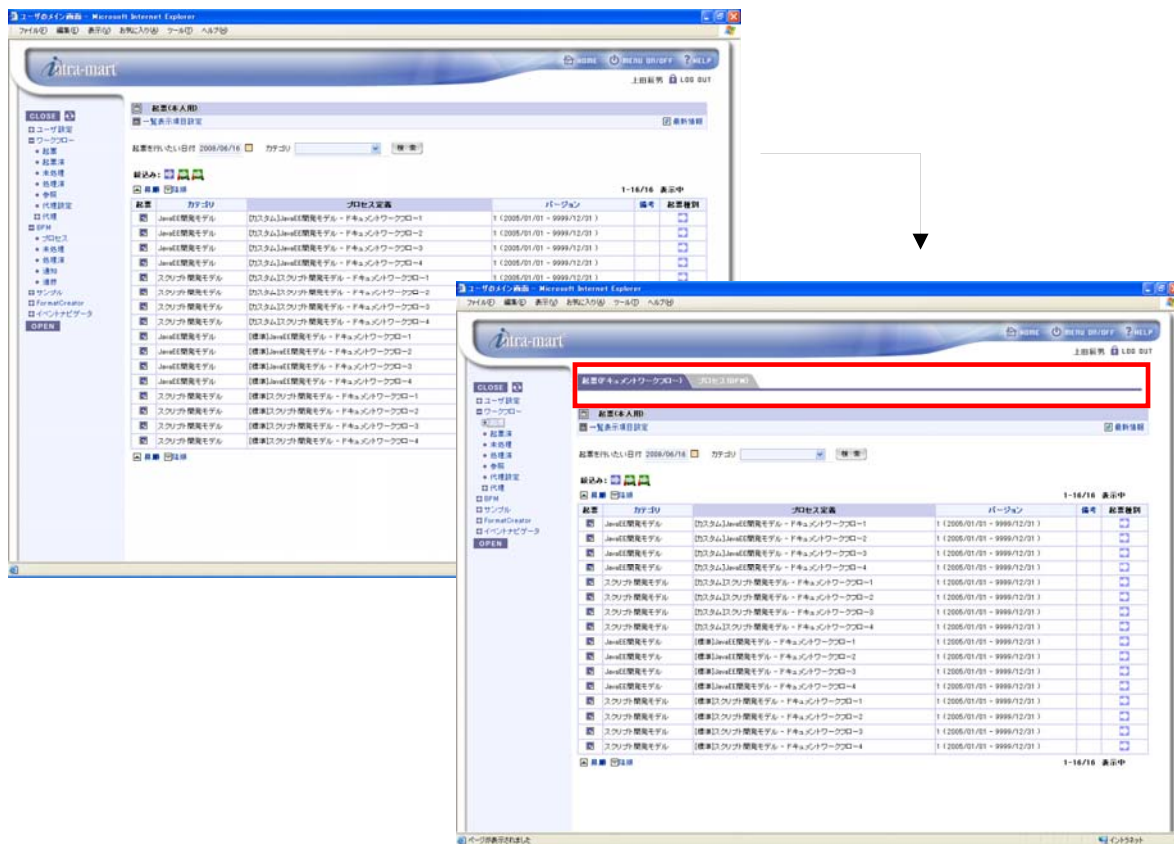
3.1.2 service-config-bpw.xml.bpmnlist

```
<% AppRuntime %>/ doc/imart/WEB-INF/classes/service-config-bpw.xml.bpmnlist
```

IM-BPM 画面タブ表示に関する設定ファイルです。この設定ファイルを使用することで、ドキュメントワークフローの画面に対して IM-BPM 画面を表示できるタブを追加することができます。

3.1.2.1 IM-BPM画面表示タブ追加

ドキュメントワークフロー画面に IM-BPM 画面のタブを追加します。

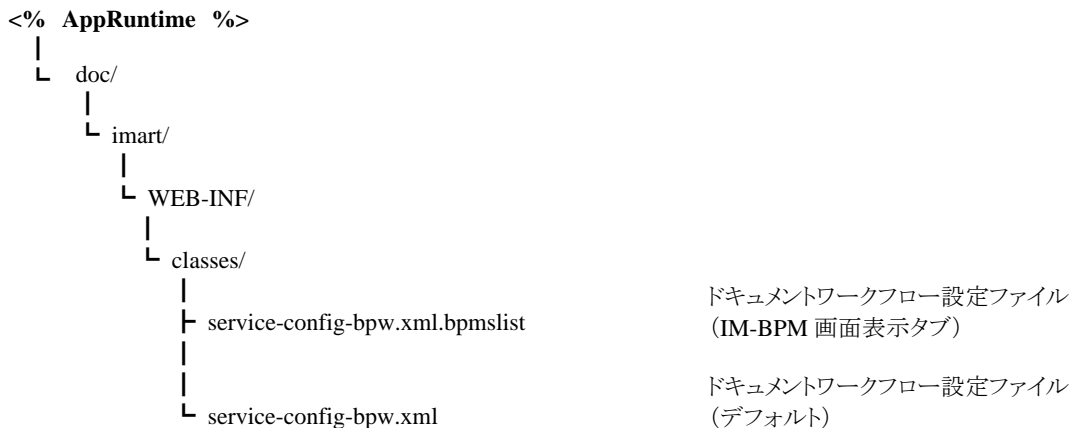


本設定の対象となるドキュメントワークフロー画面は、以下の画面となります。

- ドキュメントワークフロー画面
 - ・ [起票]画面
 - ・ [未処理案件一覧]画面
 - ・ [処理済案件一覧]画面

3.1.2.2 設定方法

IM-BPM 画面表示タブの設定を有効にするには、以下の手順に従って service-config-bpw.xml を置き換える必要があります。



■ 設定手順

1. 「service-config-bpw.xml」を削除します。
2. 「service-config-bpw.xml.bpmslist」のファイル名を「service-config-bpw.xml」に変更します。
3. iWP/iAF の再起動を行います。

3.1.2.3 設定項目

設定項目を以下に示します。

■ [起票]画面 (ドキュメントワークフロー)

service-config-bpw.xml.bpmslist の設定

```

...
<service>
  <service-id>process_instance_entry_frame_call</service-id>
  <transition-class>jp.co.intra_mart.framework.base.service.IntramartPageBaseTransition</transition-class>
  <next-page>
    <page-path>bpms/view/task/initial/initial_bpw</page-path>
  </next-page>
</service>
...
    
```

■ [未処理案件一覧]画面 (ドキュメントワークフロー)

service-config-bpw.xml.bpmslist の設定

```

...
<service>
  <service-id>not_completed_frame_call</service-id>
  <transition-class>jp.co.intra_mart.framework.base.service.IntramartPageBaseTransition</transition-class>
  <next-page>
    <page-path>bpms/view/task/activity/activity_bpw</page-path>
  </next-page>
</service>
...
    
```


■ [処理済案件一覧]画面 (ドキュメントワークフロー)

service-config-bpw.xml.bpmslist の設定

```
...  
  
<service>  
  <service-id>consented_frame_call</service-id>  
  <transition-class>jp.co.intra_mart.framework.base.service.IntramartPageBaseTransition</transition-class>  
  <next-page>  
    <page-path>bpms/view/task/completed/completed_bpw</page-path>  
  </next-page>  
</service>  
  
...
```

3.1.3 progress.ini

- <% ResourceService %>/ pages/platform/src/bpms/view/progress/progress.ini
[進捗一覧]画面などの表示に関する設定ファイルです。

3.1.3.1 画面表示

以下の画面では設定ファイルを使用して、画面の初期表示時の設定、画面に表示される一覧についての設定を行います。

- progress.ini を使用する画面
 - ・ [進捗一覧]画面
 - ・ [進捗一覧 - 詳細]画面
 - ・ [進捗一覧 - 管理]画面

3.1.3.1.1 設定例

設定例を以下に示します。

progress.ini の設定

```
#####
# 進捗関連共通
#####
# 業務データ追加フラグ
EXTENSION_FLG=false

#####
# [進捗一覧]画面
# [進捗一覧-管理]画面
#####
# 初期表示時のソート順
SORT_DIRECT=asc
# 初期表示時のソートキー
SORT_ITEM=processInstanceId
# 件数/ページ
PAGE_LINE=10
# チェックボックス
TABLE_COLUMN_KEY.0=checkbox
# 案件番号
TABLE_COLUMN_KEY.1=processInstanceId
# プロセス定義
TABLE_COLUMN_KEY.2=businessProcessName
# 案件名
TABLE_COLUMN_KEY.3=processName
# 詳細
TABLE_COLUMN_KEY.4=processDetail
# フロー
TABLE_COLUMN_KEY.5=flow
# 開始日
TABLE_COLUMN_KEY.6=startDate
# 状態
TABLE_COLUMN_KEY.7=processStatus
#####
# [進捗一覧-詳細]画面
#####
# 処理 ID
TASK_TABLE_COLUMN_KEY.0=noticeTaskId
# 処理名
TASK_TABLE_COLUMN_KEY.1=noticeTaskName
# ユーザ
TASK_TABLE_COLUMN_KEY.2=userCd
# 処理日
TASK_TABLE_COLUMN_KEY.3=tranDate
# 状態
TASK_TABLE_COLUMN_KEY.4=taskStatus
```

```
# 詳細
TASK_TABLE_COLUMN_KEY.5=taskDetail
# フロー
TASK_TABLE_COLUMN_KEY.6=bpwFlow

# 設定項目
#####
# XFormを詳細画面制御(進捗一覧_詳細画面でXFormを画面を表示する・しないを切り替えます)
# 指定可能な設定値:
# true: 表示する
# false: 表示しない
bpms.view.progress.task.detail.xforms.enabled=false
# ヒューマンタスク画面の表示可否の事前チェック制御
# 指定可能な設定値:
# true: 進捗一覧_詳細画面の表示時にチェックする。
# false: 進捗一覧_詳細画面の表示時にチェックしない。
bpms.view.progress.task.humantask.precheck=true
```

3.1.3.1.2 設定項目

設定項目を以下に示します。

■ [進捗一覧]画面、[進捗一覧 - 管理]画面

キー	説明
EXTENSION_FLG	進捗通知拡張機能の使用有無(true または false を設定する) ※進捗通知拡張機能については、別冊「intra-mart WebPlatform/AppFramework -BPM プログラミングガイド」の3章を参照ください。
SORT_DIRECT	画面初期表示時のソート方向。asc または desc を設定する。
SORT_ITEM	画面初期表示時のソート項目。以下の何れかを指定する。 <指定する項目> <ul style="list-style-type: none"> • processInstanceId: 案件番号 • businessProcessName: プロセス定義 • processName: 案件名 • startDate: 開始日 • processStatus: 状態
PAGE_LINE	1 ページに表示する最大件数。
TABLE_COLUMN_KEY.0	一覧に表示する項目。以下の何れかを設定する。 <指定する項目> <ul style="list-style-type: none"> • checkbox: チェックボックス • processInstanceId: 案件番号 • businessProcessName: プロセス定義 • processName: 案件名 • processDetail: 詳細 • flow: フロー • startDate: 開始日 • processStatus: 状態
TABLE_COLUMN_KEY.1	一覧に表示する項目。「TABLE_COLUMN_KEY.0」に挙げた項目の何れかを設定する。
TABLE_COLUMN_KEY.2	一覧に表示する項目。「TABLE_COLUMN_KEY.0」に挙げた項目の何れかを設定する。
TABLE_COLUMN_KEY.3	一覧に表示する項目。「TABLE_COLUMN_KEY.0」に挙げた項目の何れかを設定する。
TABLE_COLUMN_KEY.4	一覧に表示する項目。「TABLE_COLUMN_KEY.0」に挙げた項目の何れかを設定する。
TABLE_COLUMN_KEY.5	一覧に表示する項目。「TABLE_COLUMN_KEY.0」に挙げた項目の何れかを設定する。
TABLE_COLUMN_KEY.6	一覧に表示する項目。「TABLE_COLUMN_KEY.0」に挙げた項目の何れかを設定する。
TABLE_COLUMN_KEY.7	一覧に表示する項目。「TABLE_COLUMN_KEY.0」に挙げた項目の何れかを設定する。

■ [進捗一覧 - 詳細]画面

キー	説明
EXTENSION_FLG	進捗通知拡張機能の使用有無。true または false を設定する。 ※進捗通知拡張機能については、別冊「intra-mart WebPlatform/AppFramework - BPM プログラミングガイド」の3章を参照ください。
TASK_TABLE_COLUMN_KEY.0	一覧に表示する項目。以下の何れかを指定する。 <指定する項目> <ul style="list-style-type: none"> • noticeTaskId: 処理 ID • noticeTaskName: 処理名 • userCd: ユーザ • tranDate: 処理日 • taskStatus: 状態 • taskDetail : 詳細(ヒューマンタスク・ドキュメントワークフロー) • bpwFlow : フロー(ドキュメントワークフロー)
TASK_TABLE_COLUMN_KEY.1	一覧に表示する項目。「TASK_TABLE_COLUMN_KEY.0」に挙げた項目の何れかを指定する。
TASK_TABLE_COLUMN_KEY.2	一覧に表示する項目。「TASK_TABLE_COLUMN_KEY.0」に挙げた項目の何れかを指定する。
TASK_TABLE_COLUMN_KEY.3	一覧に表示する項目。「TASK_TABLE_COLUMN_KEY.0」に挙げた項目の何れかを指定する。
TASK_TABLE_COLUMN_KEY.4	一覧に表示する項目。「TASK_TABLE_COLUMN_KEY.0」に挙げた項目の何れかを指定する。
TASK_TABLE_COLUMN_KEY.5	一覧に表示する項目。「TASK_TABLE_COLUMN_KEY.0」に挙げた項目の何れかを指定する。
TASK_TABLE_COLUMN_KEY.6	一覧に表示する項目。「TASK_TABLE_COLUMN_KEY.0」に挙げた項目の何れかを指定する。
bpms.view.progress.task.detail.xforms.enabled	XForm の詳細画面制御。 true(表示) または false(非表示)を設定する。
bpms.view.progress.task.humantask.precheck	詳細(ヒューマンタスク)画面の表示可否の事前チェック制御。 true([進捗一覧-詳細]画面表示時に事前チェックをする) または false([進捗一覧-詳細]画面表示時に事前チェックをせずに、詳細ボタン押下時にチェックする)を設定する。

3.1.4 task.ini

- <% ResourceService %>/ pages / platform/src/bpms/view/task/task.ini

[プロセス一覧]画面などの表示に関する設定ファイルです。

3.1.4.1 画面表示

以下の画面では、設定ファイルを使用して、画面の初期表示時の設定、画面に表示される一覧、画面遷移についての設定を行います。

- task.ini を使用する画面
 - ・ [プロセス一覧]画面
 - ・ [未処理案件一覧]画面
 - ・ [処理済案件一覧]画面
 - ・ [通知一覧]画面

3.1.4.1.1 設定例

設定例を以下に示します。

task.ini の設定

```
#####
# プロセス一覧定義 #
#####

# 初期表示タブ
# プロセス一覧画面を選択した場合に表示されるデフォルトのタブを指定します。
# 指定可能な設定値:
# bpw: BPW
# bpms: BPMS
bpms.view.task.initial.tab=bpms

# 一覧表示件数
# 1 ページに表示する最大件数を指定します。
bpms.view.task.initial.list.count=10

# 一覧表示項目
# 一覧に表示する項目を左から順にカンマ区切りで指定します。
# 指定可能な設定値:
# action: 業務画面へのリンクアイコン
# description: 案件名
# createDate: 作成日(デプロイを行った日付)
# 例: action, description, createDate
bpms.view.task.initial.list.keys=action, description

# 一覧表示項目幅
# 一覧に表示する項目幅を左から順にカンマ区切りで指定します。
# 例: 60px, 50%, auto
bpms.view.task.initial.list.width=40px, auto

# 初期ソート項目
# 一覧表示項目で設定した項目を指定してください。
# 指定可能な設定値:
# description: 案件名
# createDate: 作成日(デプロイを行った日付)
bpms.view.task.initial.list.sort.key=description

# 初期ソート方向
# 指定可能な設定値:
# asc: 昇順
# desc: 降順
```

```
bpms.view.task.initial.list.sort.order=asc

#####
# 未処理案件一覧画面定義 #
#####

# 初期表示タブ
# 未処理案件一覧画面を選択した場合に表示されるデフォルトのタブを指定します。
# 指定可能な設定値:
# bpw: BPW
# bpms: BPMS
bpms.view.task.activity.tab=bpms

# 一覧表示件数
# 1 ページに表示する最大件数を指定します。
bpms.view.task.activity.list.count=10

# 一覧表示項目
# 一覧に表示する項目を左から順にカンマ区切りで指定します。
# 指定可能な設定値:
# action: 業務画面へのリンクアイコン
# description: 案件名
# creationDate: 依頼日
# state: 状態
# 例: action, description, creationDate
bpms.view.task.activity.list.keys=action, creationDate, state, description

# 一覧表示項目幅
# 一覧に表示する項目幅を左から順にカンマ区切りで指定します。
# 例: 60px, 50%, auto
bpms.view.task.activity.list.width=40px, 160px, 70px, auto

# 初期ソート項目
# 一覧表示項目で設定した項目を指定してください。
# 指定可能な設定値:
# description: 案件名
# creationDate: 依頼日
# state: 状態
bpms.view.task.activity.list.sort.key=creationDate

# 初期ソート方向
# 指定可能な設定値:
# asc: 昇順
# desc: 降順
bpms.view.task.activity.list.sort.order=desc

#####
# 未処理案件一覧 Portlet 画面定義#
#####

# 一覧表示件数
# 1 ページに表示する最大件数を指定します。
bpms.view.task.activity.portlet.list.count=5

# 一覧表示項目
# 一覧に表示する項目を左から順にカンマ区切りで指定します。
# 指定可能な設定値:
# action: 業務画面へのリンクアイコン
# description: 案件名
# creationDate: 依頼日
# state: 状態
# 例: action, description, creationDate
bpms.view.task.activity.portlet.list.keys=action, creationDate, state, description

# 一覧表示項目幅
# 一覧に表示する項目幅を左から順にカンマ区切りで指定します。
# 例: 60px, 50%, auto
bpms.view.task.activity.portlet.list.width=40px, 160px, 70px, auto
```

```
# 初期ソート項目
# 一覧表示項目で設定した項目を指定してください。
# 指定可能な設定値:
# description: 案件名
# createDate: 依頼日
# state: 状態
bpms.view.task.activity.portlet.list.sort.key=creationDate

# 初期ソート方向
# 指定可能な設定値:
# asc: 昇順
# desc: 降順
bpms.view.task.activity.portlet.list.sort.order=desc

#####
# 処理済案件一覧画面定義 #
#####

# 初期表示タブ
# 処理済案件一覧画面を選択した場合に表示されるデフォルトのタブを指定します。
# 指定可能な設定値:
# bpw: BPW
# bpms: BPMS
bpms.view.task.completed.tab=bpms

# 一覧表示件数
# 1 ページに表示する最大件数を指定します。
bpms.view.task.completed.list.count=10

# 一覧表示項目
# 一覧に表示する項目を左から順にカンマ区切りで指定します。
# 指定可能な設定値:
# action: 業務画面へのリンクアイコン
# description: 案件名
# createDate: 依頼日
# state: 状態
# type: 種別
# 例: action, description, createDate
bpms.view.task.completed.list.keys=action, createDate, description

# 一覧表示項目幅
# 一覧に表示する項目幅を左から順にカンマ区切りで指定します。
# 例: 60px, 50%, auto
bpms.view.task.completed.list.width=40px, 160px, auto

# 初期ソート項目
# 一覧表示項目で設定した項目を指定してください。
# 指定可能な設定値:
# description: 案件名
# createDate: 依頼日
# state: 状態
# type: 種別
bpms.view.task.completed.list.sort.key=creationDate

# 初期ソート方向
# 指定可能な設定値:
# asc: 昇順
# desc: 降順
bpms.view.task.completed.list.sort.order=desc

# 処理アイコン制御(処理済画面において xForms 画面処理アイコンの表示を切り替えます)
# 指定可能な設定値:
# true: 表示する
# false: 表示しない
bpms.view.task.completed.list.action.xforms.enabled=false

#####
```



```
# 通知一覧画面定義 #
#####

# 一覧表示件数
# 1 ページに表示する最大件数を指定します。
bpms.view.task.notification.list.count=10

# 一覧表示項目
# 一覧に表示する項目を左から順にカンマ区切りで指定します。
# 指定可能な設定値:
# action: 業務画面へのリンクアイコン
# description: 案件名
# creationDate: 通知日
# 例: action, description, creationDate
bpms.view.task.notification.list.keys=action, description, creationDate

# 一覧表示項目幅
# 一覧に表示する項目幅を左から順にカンマ区切りで指定します。
# 例: 60px, 50%, auto
bpms.view.task.notification.list.width=40px, auto, 160px

# 初期ソート項目
# 一覧表示項目で設定した項目を指定してください。
# 指定可能な設定値:
# description: 案件名
# creationDate: 依頼日
bpms.view.task.notification.list.sort.key=creationDate

# 初期ソート方向
# 指定可能な設定値:
# asc: 昇順
# desc: 降順
bpms.view.task.notification.list.sort.order=desc

## 設定変更不可
bpms.view.task.initial.referer.jssp=bpms/view/task/initial/initial_bpms
bpms.view.task.initial.referer.javaee=bpms-initial_bpms.service
bpms.view.task.activity.referer.jssp=bpms/view/task/activity/activity_bpms
bpms.view.task.activity.referer.javaee=bpms-activity_bpms.service
bpms.view.task.notification.referer.jssp=bpms/view/task/notification/notification_bpms
bpms.view.task.notification.referer.javaee=bpms-notification_bpms.service
bpms.view.task.completed.referer.jssp=bpms/view/task/completed/completed_bpms
bpms.view.task.completed.referer.javaee=bpms-completed_bpms.service
```

3.1.4.1.2 設定項目

設定項目を以下に示します。

■ [プロセス一覧]画面

キー	説明
bpms.view.task.initial.tab	初期表示時に表示する画面。bpw または bpms を設定する。 <bpw を指定した場合> ドキュメントワークフローの[起票(本人用)]画面を表示。 <bpms を指定した場合> IM-BPM の[プロセス一覧]画面を表示。
bpms.view.task.initial.list.count	1 ページに表示する最大件数。
bpms.view.task.initial.list.keys	一覧に表示する項目。以下の項目の何れかを指定し、複数指定する場合は、カンマ区切りで指定する。 <指定項目> ・action: 開始 ・description: プロセス名 ・creationDate: 作成日
bpms.view.task.initial.list.width	一覧に表示する列の幅。複数指定する場合は、カンマ区切りで指定する。 <例> 60px, 50%, auto
bpms.view.task.initial.list.sort.key	画面初期表示時のソート項目。以下の何れか一つを指定する。 <指定する項目> ・description: プロセス名 ・creationDate: 作成日
bpms.view.task.initial.list.sort.order	画面初期表示時のソート方向。asc または desc を設定する。
bpms.view.task.initial.referer.jsp	詳細は、別冊「intra-mart WebPlatform/AppFramework - BPM プログラミングガイド」の2章を参照ください。
bpms.view.task.initial.referer.javaee	詳細は、別冊「intra-mart WebPlatform/AppFramework - BPM プログラミングガイド」の2章を参照ください。

- [未処理案件一覧]画面
(メニュー[BPM]-[未処理]を選択して表示した場合)

キー	説明
bpms.view.task.activity.tab	初期表示時に表示する画面。bpw または bpms を設定する。 <bpw を指定した場合> ドキュメントワークフローの[未処理案件一覧(本人用)]画面を表示。 <bpms を指定した場合> IM-BPM の[未処理案件一覧]画面を表示。
bpms.view.task.activity.list.count	1 ページに表示する最大件数。
bpms.view.task.activity.list.keys	一覧に表示する項目。以下の項目の何れかを指定し、複数指定する場合は、カンマ区切りで指定する。 <指定する項目> <ul style="list-style-type: none"> • action: 処理 • createDate: 依頼日 • state: 状態 • description: 案件名
bpms.view.task.activity.list.width	一覧に表示する列の幅。複数指定する場合は、カンマ区切りで指定する。 <例> 10px, 60px, 50%, auto
bpms.view.task.activity.list.sort.key	画面初期表示時のソート項目。以下の何れかを一つを指定する。 <指定する項目> <ul style="list-style-type: none"> • createDate: 依頼日 • state: 状態 • description: 案件名
bpms.view.task.activity.list.sort.order	画面初期表示時のソート方向。asc または desc を設定する。
bpms.view.task.activity.referer.jssp	詳細は、別冊「intra-mart WebPlatform/AppFramework – BPM プログラミングガイド」の2章を参照ください。
bpms.view.task.activity.referer.javaee	詳細は、別冊「intra-mart WebPlatform/AppFramework – BPM プログラミングガイド」の2章を参照ください。

(ポータル画面に表示した場合)

キー	説明
bpms.view.task.activity.portlet.list.count	1 ページに表示する最大件数。
bpms.view.task.activity.portlet.list.keys	一覧に表示する項目。以下の項目のどれかを指定し、複数指定する場合は、カンマ区切りで指定する。 <指定する項目> <ul style="list-style-type: none"> ・ action: 処理 ・ createDate: 依頼日 ・ state: 状態 ・ description: 案件名
bpms.view.task.activity.portlet.list.width	一覧に表示する列の幅。複数指定する場合は、カンマ区切りで指定する。 <例> 10px, 60px, 50%, auto
bpms.view.task.activity.portlet.list.sort.key	画面初期表示時のソート項目。以下のどれか一つを指定する。 <指定する項目> <ul style="list-style-type: none"> ・ createDate: 依頼日 ・ state: 状態 ・ description: 案件名
bpms.view.task.activity.portlet.list.sort.order	画面初期表示時のソート方向。asc または desc を設定する。
bpms.view.task.activity.referer.jssp	詳細は、別冊「intra-mart WebPlatform/AppFramework – BPM プログラミングガイド」の2章を参照ください。
bpms.view.task.activity.referer.javaee	詳細は、別冊「intra-mart WebPlatform/AppFramework – BPM プログラミングガイド」の2章を参照ください。

■ [処理済案件一覧]画面

キー	説明
bpms.view.task.completed.tab	初期表示時に表示する画面。bpw または bpms を設定する。 <bpw を指定した場合> ドキュメントワークフローの[処理済案件一覧(本人用)]画面を表示。 <bpms を指定した場合> IM-BPM の[処理済案件一覧]画面を表示。
bpms.view.task.completed.list.count	1 ページに表示する最大件数
bpms.view.task.completed.list.keys	一覧に表示する項目。以下の項目の何れかを指定し、複数指定する場合は、カンマ区切りで指定する。 <指定する項目> ・action: 詳細 ・creationDate: 依頼日 ・description: 案件名 ・state: 状態 ・type: 種別
bpms.view.task.completed.list.width	一覧に表示する列の幅。複数指定する場合は、カンマ区切りで指定する。 <例> 10px, 60px, 50%, auto, auto
bpms.view.task.completed.list.sort.key	画面初期表示時のソート項目。以下の何れか一つを指定する。 <指定する項目> ・creationDate: 依頼日 ・description: 案件名 ・state: 状態 ・type: 種別
bpms.view.task.completed.list.sort.order	画面初期表示時のソート方向。asc または desc を設定する。
bpms.view.task.completed.list.action.xforms.enabled	処理アイコンの表示設定。true (表示) または false (非表示) を設定する。
bpms.view.task.notification.referer.jssp	詳細は、別冊「intra-mart WebPlatform/AppFramework - BPM プログラミングガイド」の2章を参照ください。
bpms.view.task.notification.referer.javaee	詳細は、別冊「intra-mart WebPlatform/AppFramework - BPM プログラミングガイド」の2章を参照ください。

■ [通知一覧]画面

キー	説明
bpms.view.task.notification.list.count	1 ページに表示する最大件数。
bpms.view.task.notification.list.keys	一覧に表示する項目。以下の項目の何れかを指定し、複数指定する場合は、カンマ区切りで指定する。 < 指定する項目 > <ul style="list-style-type: none"> •action: 通知 •description: 案件名 •creationDate: 通知日
bpms.view.task.notification.list.width	一覧に表示する列の幅。複数指定する場合は、カンマ区切りで指定する。 < 例 > 60px, 50%, auto
bpms.view.task.notification.list.sort.key	画面初期表示時のソート項目。以下の何れか一つを指定する。 < 指定する項目 > <ul style="list-style-type: none"> •description: 案件名 •creationDate: 通知日
bpms.view.task.notification.list.sort.order	画面初期表示時のソート方向。asc または desc を設定する。
bpms.view.task.completed.referer.jssp	詳細は、別冊「intra-mart WebPlatform/AppFramework – BPM プログラミングガイド」の2章を参照ください。
bpms.view.task.completed.referer.javaee	詳細は、別冊「intra-mart WebPlatform/AppFramework – BPM プログラミングガイド」の2章を参照ください。

3.1.5 survey_config.ini

- <% ResourceService %>/ pages / platform/src/bpms/survey/survey_config.ini

成熟度調査などの表示に関する設定ファイルです。

3.1.5.1 画面表示

以下の画面では、設定ファイルを使用して、画面の初期表示時の設定、画面に表示される一覧、画面遷移についての設定を行います。

- survey_config.ini を使用する画面
 - ・ [質問作成]画面
 - ・ [アンケート作成]画面
 - ・ [質問検索]画面
 - ・ [未回答アンケート一覧]画面
 - ・ [未回答アンケート一覧(ポータル)]画面
 - ・ [アンケート管理]画面
 - ・ [回答状況一覧]画面

3.1.5.1.1 設定例

設定例を以下に示します。

survey_config.ini の設定

```
#####
# 共通項目 #
#####
# 質問 - 最大達成度
# 達成度の最大値を指定します。
#   - チェックボックス : 最大達成度 / 選択肢数 によって、選択肢1つあたりの達成度が決定します。
#   - ラジオボタン : 0 から最大達成度まで、下記項目の間隔で選択できる達成度が決定します。
#
bpms.survey.common.question.max.achievement=100

# 質問 - 達成度間隔
# ラジオボタン式の選択肢を利用する場合に、達成度の選択間隔を指定します。
# この値は、必ず最大達成度に対して割り切れる数を指定してください。
#
# [設定例]
# 最大達成度:100 / 達成度間隔:10
#   -> 0, 10, 20, ...,100
bpms.survey.common.question.achievement.span=10

# アンケート - 最大重要度
# アンケートの設問全体での重要度を指定します。
#
bpms.survey.common.questionnaire.max.importance=100

# アンケート - 重要度間隔
# アンケートの設問毎に設定する重要度の選択間隔を指定します。
# この値は、必ず全体の重要度に対して割り切れる数を指定してください。
#
# [設定例]
# 全体の重要度:100 / 重要度間隔:10
#   -> 0, 10, 20, ...,100
bpms.survey.common.questionnaire.importance.span=10

# 日付フォーマット
bpms.survey.common.format.date=yyyy/MM/dd
```

```
# 日付フォーマット詳細
bpms.survey.common.format.date.detail=yyyy/MM/dd HH:mm

# 日付フォーマット(yyyy/MM/dd HH:mm:ss)
bpms.survey.common.format.date.second=yyyy/MM/dd HH:mm:ss

#####
# 質問作成画面定義 #
#####

# 一覧表示件数
# 1 ページに表示する最大件数の指定。
bpms.survey.question.master.list.max.count=5

# 一覧表示項目
# 一覧に表示する項目を左から順にカンマ区切りで指定します。
#
# [指定可能な設定値]
# question_master_cd : 質問 ID
# category_name      : カテゴリ名
# title              : 質問タイトル
# created_date       : 作成日
# updated_date       : 追加日
#
# [設定例]
# ~?=question_master_cd, category_name, title
bpms.survey.question.master.list.column.keys=category_name, title, created_date, updated_date

# 一覧表示項目幅
# 一覧に表示する項目幅を左から順にカンマ区切りで指定します。
#
# [設定例]
# ~?=50px(ピクセル指定), 50%(パーセント指定), auto(自動調整)
bpms.survey.question.master.list.column.width=auto, auto, auto, auto

# 初期ソート項目
# 一覧表示項目で設定した項目を指定してください。
#
# [指定可能な設定値]
# question_master_cd : 質問 ID
# category_name      : カテゴリ名
# title              : 質問タイトル
# created_date       : 作成日
# updated_date       : 追加日
bpms.survey.question.master.list.sort.key=question_master_cd

# 初期ソート方向
#
# [指定可能な設定値]
# asc      : 昇順
# desc     : 降順
bpms.survey.question.master.list.sort.order=asc

#####
# アンケート作成画面 #
#####

# 一覧表示件数
# 1 ページに表示する最大件数の指定。
bpms.survey.questionnaire.list.max.count=10

# 一覧表示項目
# 一覧に表示する項目を左から順にカンマ区切りで指定します。
#
# [指定可能な設定値]
# questionnaire_cd : アンケート ID
# title            : アンケート名
```



```

# send_questionnaire: アンケート配信ボタン
#   created_date   : 作成日
#   updated_date   : 追加日
#
# [設定例]
# ~=?questionnaire_cd, title, send_questionnaire
bpms.survey.questionnaire.list.column.keys=title, send_questionnaire, created_date, updated_date

# 一覧表示項目幅
#   一覧に表示する項目幅を左から順にカンマ区切りで指定します。
#
# [設定例]
# ~=?50px(ピクセル指定), 50%(パーセント指定), auto(自動調整)
bpms.survey.questionnaire.list.column.width=auto, 5%, 15%, 15%

# 初期ソート項目
#   一覧表示項目で設定した項目を指定してください。
#
# [指定可能な設定値]
#   questionnaire_cd : アンケート ID
#   title             : アンケート名
#   created_date      : 作成日
#   updated_date      : 追加日
bpms.survey.questionnaire.list.sort.key=questionnaire_cd

# 初期ソート方向
#
# [指定可能な設定値]
#   asc : 昇順
#   desc: 降順
bpms.survey.questionnaire.list.sort.order=asc

#####
# 質問検索画面定義 #
#####

# 一覧表示件数
# 1 ページに表示する最大件数の指定。
bpms.survey.question.master.search.max.count=10

# 一覧表示項目
#   一覧に表示する項目を左から順にカンマ区切りで指定します。
#
# [指定可能な設定値]
#   question_master_cd : 質問 ID
#   category_name      : カテゴリ名
#   title              : 質問タイトル
#
# [設定例]
# ~=?question_master_cd, category_name
bpms.survey.question.master.search.column.keys=category_name, title

# 一覧表示項目幅
#   一覧に表示する項目幅を左から順にカンマ区切りで指定します。
#
# [設定例]
# ~=?50px(ピクセル指定), 50%(パーセント指定), auto(自動調整)
bpms.survey.question.master.search.column.width=auto, auto

# 初期ソート項目
#   一覧表示項目で設定した項目を指定してください。
#
# [指定可能な設定値]
#   question_master_cd : 質問 ID
#   category_name      : カテゴリ名
#   title              : 質問タイトル
bpms.survey.question.master.search.sort.key=question_master_cd

```

```
# 初期ソート方向
#
#   [指定可能な設定値]
#   asc      : 昇順
#   desc     : 降順
bpms.survey.question.master.search.sort.order=asc

#####
# 未回答アンケート一覧 #
#####

# 一覧表示件数
# 1 ページに表示する最大件数の指定。
bpms.survey.unanswer.list.max.count=10

# 一覧表示項目
#   一覧に表示する項目を左から順にカンマ区切りで指定します。
#
#   [指定可能な設定値]
#
# [設定例]
# delivery_date : 依頼日(配信日)
# limit_date   : 回答期限
# title        : アンケート名
# task_name    : タスク名
#
# ~=?questionnaire_cd, title, send_questionnaire
bpms.survey.unanswer.list.column.keys=delivery_date, limit_date, title, task_name

# 一覧表示項目幅
#   一覧に表示する項目幅を左から順にカンマ区切りで指定します。
#
# [設定例]
# ~?=50px(ピクセル指定), 50%(パーセント指定), auto(自動調整)
bpms.survey.unanswer.list.column.width=auto, auto, auto, auto

# 初期ソート項目
#   一覧表示項目で設定した項目を指定してください。
#
#   [指定可能な設定値]
bpms.survey.unanswer.list.sort.key=delivery_date

# 初期ソート方向
#
#   [指定可能な設定値]
#   asc      : 昇順
#   desc     : 降順
bpms.survey.unanswer.list.sort.order=asc

#####
# 未回答アンケート一覧(ポータル) #
#####

# 一覧表示件数
# 1 ページに表示する最大件数の指定。
bpms.survey.unanswer.for.portal.max.count=10

# 一覧表示項目
#   一覧に表示する項目を左から順にカンマ区切りで指定します。
#
#   [指定可能な設定値]
#
# [設定例]
# limit_date : 回答期限
# title      : アンケート名
#
# ~=?limit_date, title
bpms.survey.unanswer.for.portal.column.keys=limit_date, title
```

```

# 一覧表示項目幅
# 一覧に表示する項目幅を左から順にカンマ区切りで指定します。
#
# [設定例]
# ~ = 50px(ピクセル指定), 50%(パーセント指定), auto(自動調整)
bpms.survey.unanswer.for.portal.column.width=auto, auto

# 初期ソート項目
# 一覧表示項目で設定した項目を指定してください。
#
# [指定可能な設定値]
bpms.survey.unanswer.for.portal.sort.key=limit_date

# 初期ソート方向
#
# [指定可能な設定値]
# asc : 昇順
# desc: 降順
bpms.survey.unanswer.for.portal.sort.order=asc

#####
# アンケート管理 #
#####

# 一覧表示件数
# 1 ページに表示する最大件数の指定。
bpms.survey.questionnaire.admin.list.max.count=10

# 一覧表示項目
# 一覧に表示する項目を左から順にカンマ区切りで指定します。
#
# [指定可能な設定値]
#
# [設定例]
# answerRate : 回答率
# title : アンケート名
# delivery_date : 依頼日(配信日)
# limit_date : 回答期限
#
# ~ = questionnaire_cd, title, send_questionnaire
bpms.survey.questionnaire.admin.list.column.keys=answerRate, title, delivery_date, limit_date

# 一覧表示項目幅
# 一覧に表示する項目幅を左から順にカンマ区切りで指定します。
#
# [設定例]
# ~ = 50px(ピクセル指定), 50%(パーセント指定), auto(自動調整)
bpms.survey.questionnaire.admin.list.column.width=5%, auto, 15%, 15%

# 初期ソート項目
# 一覧表示項目で設定した項目を指定してください。
#
# [指定可能な設定値]
# answerRate : 回答率
# title : アンケート名
# delivery_date : 依頼日(配信日)
# limit_date : 回答期限
bpms.survey.questionnaire.admin.list.sort.key=answerRate

# 初期ソート方向
#
# [指定可能な設定値]
# asc : 昇順
# desc: 降順
bpms.survey.questionnaire.admin.list.sort.order=desc

#####

```

```
# 回答状況一覧 #
#####

# 一覧表示件数
# 1 ページに表示する最大件数の指定。
bpms.survey.answer.status.list.max.count=10

# 一覧表示項目
# 一覧に表示する項目を左から順にカンマ区切りで指定します。
#
# [指定可能な設定値]
#
# [設定例]
# status      : 回答状態
# task_name   : タスク
# answer_user  : 回答者
# answer_date  : 回答期限
#
# ~=questionnaire_cd, title, send_questionnaire
bpms.survey.answer.status.list.column.keys=status, task_name, answer_user, answer_date

# 一覧表示項目幅
# 一覧に表示する項目幅を左から順にカンマ区切りで指定します。
#
# [設定例]
# ~=50px(ピクセル指定), 50%(パーセント指定), auto(自動調整)
bpms.survey.answer.status.list.column.width=10%, auto, 15%, 15%

# 初期ソート項目
# 一覧表示項目で設定した項目を指定してください。
#
# [指定可能な設定値]
# status      : 回答状態
# task_name   : タスク
# answer_date  : 回答期限
bpms.survey.answer.status.list.sort.key=status

# 初期ソート方向
#
# [指定可能な設定値]
# asc        : 昇順
# desc       : 降順
bpms.survey.answer.status.list.sort.order=asc

# 一覧表示項目ヒートマップ(表示項目設定)
# 一覧に表示する項目を左から順にカンマ区切りで指定します。
#
# [指定可能な設定値]
# answer      : 回答者
# task        : タスク
# pool        : プール
# process     : プロセス
# department  : 所属
# questionnaire: アンケート
#
# [設定例]
# ~=answer, task, pool, process, department, questionnaire
bpms.survey.heatmap.view.select.keys.heatmap=answer, task, pool, process, department, questionnaire

# 一覧表示項目アンケート配信(表示項目設定)
# 一覧に表示する項目を左から順にカンマ区切りで指定します。
#
# [指定可能な設定値]
# owner       : オーナー
# task        : タスク
# pool        : プール
# process     : プロセス
#
```

```
# [設定例]
# ~=owner, task, pool, process
bpms.survey.heatmap.view.select.keys.delivery=owner, task, pool, process

# 初期表示タブ
# アンケート配信画面を選択した場合には表示されるデフォルトのタブを指定します。
# 指定可能な設定値:
# process: プロセス
# keyword: キーワード検索
# department: 組織検索
bpms.survey.delivery.tab=process
```

3.1.5.1.2 設定項目

設定項目を以下に示します。

■ 共通項目

キー	説明
bpms.survey.common.question.max.achievement	最大達成度を指定する チェックボックスの場合: 最大達成度 / 選択肢数 によって、選択肢1つあたりの達成度が決定します。 ラジオボタンの場合: 0 から最大達成度まで、下記項目の間隔で選択できる達成度が決定します。
bpms.survey.common.question.achievement.span	達成度間隔を指定する ラジオボタン式の選択肢を利用する場合に、達成度の選択間隔を指定します。 この値は、必ず最大達成度に対して割り切れる数を指定してください。
bpms.survey.common.questionnaire.max.importance	最大重要度を指定する アンケートの設問全体での重要度を指定します。
bpms.survey.common.questionnaire.importance.span	重要度間隔を指定する アンケートの設問毎に設定する重要度の選択間隔を指定します。 この値は、必ず全体の重要度に対して割り切れる数を指定してください。
bpms.survey.common.format.date	日付フォーマット
bpms.survey.common.format.date.detail	日付フォーマット(詳細)
bpms.survey.common.format.date.second	日付フォーマット(詳細)

■ [質問作成画面]画面

キー	説明
bpms.survey.question.master.list.max.count	1 ページに表示する最大件数を指定する。
bpms.survey.question.master.list.column.keys	一覧に表示する項目を左から順にカンマ区切りで指定する。 <指定する項目> ・question_master_cd: 質問 ID ・category_name: カテゴリ名 ・title: 質問タイトル ・created_date: 作成日 ・updated_date: 追加日
bpms.survey.question.master.list.column.width	一覧に表示する項目幅を左から順にカンマ区切りで指定する。 <例> auto,auto,auto,auto
bpms.survey.question.master.list.sort.key	初期ソート項目 <指定する項目> ・question_master_cd: 質問 ID ・category_name: カテゴリ名 ・title: 質問タイトル ・created_date: 作成日 ・updated_date: 追加日
bpms.survey.question.master.list.sort.order	初期ソート方向 <指定する項目> ・asc: 昇順 ・desc: 降順

■ [アンケート作成]画面

キー	説明
bpms.survey.questionnaire.list.max.count	1 ページに表示する最大件数を指定する。
bpms.survey.questionnaire.list.column.keys	一覧に表示する項目を左から順にカンマ区切りで指定する。 < 指定する項目 > •questionnaire_cd: アンケート ID •title: アンケート名 •send_questionnaire: アンケート配信ボタン •created_date: 作成日 •updated_date: 追加日
bpms.survey.questionnaire.list.column.width	一覧に表示する項目幅を左から順にカンマ区切りで指定する。 < 例 > 15%,auto,5%,15%,15%
bpms.survey.questionnaire.list.sort.key	初期ソート項目 < 指定する項目 > •questionnaire_cd: アンケート ID •title: アンケート名 •created_date: 作成日 •updated_date: 追加日
bpms.survey.questionnaire.list.sort.order	初期ソート方向 < 指定する項目 > •asc: 昇順 •desc: 降順

■ [質問検索]画面

キー	説明
bpms.survey.question.master.search.max.count	1 ページに表示する最大件数を指定する。
bpms.survey.question.master.search.column.keys	一覧に表示する項目を左から順にカンマ区切りで指定する。 < 指定する項目 > <ul style="list-style-type: none"> •question_master_cd: 質問 ID •category_name: カテゴリ名 •title: 質問タイトル
bpms.survey.question.master.search.column.width	一覧に表示する項目幅を左から順にカンマ区切りで指定する。 < 例 > auto,auto,auto
bpms.survey.question.master.search.sort.key	初期ソート項目 < 指定する項目 > <ul style="list-style-type: none"> •question_master_cd: 質問 ID •category_name: カテゴリ名 •title: 質問タイトル
bpms.survey.question.master.search.sort.order	初期ソート方向 < 指定する項目 > <ul style="list-style-type: none"> •asc: 昇順 •desc: 降順

■ [未回答アンケート一覧]画面

キー	説明
bpms.survey.unanswer.list.max.count	1 ページに表示する最大件数を指定する。
bpms.survey.unanswer.list.column.keys	一覧に表示する項目を左から順にカンマ区切りで指定する。 < 指定する項目 > ・delivery_date: 依頼日(配信日) ・limit_date: 回答期限 ・title: アンケート名 ・task_name: タスク名
bpms.survey.unanswer.list.column.width	一覧に表示する項目幅を左から順にカンマ区切りで指定する。 < 例 > auto, auto, auto
bpms.survey.unanswer.list.sort.key	初期ソート項目 < 指定する項目 > ・delivery_date: 依頼日(配信日) ・limit_date: 回答期限 ・title: アンケート名 ・task_name: タスク名
bpms.survey.unanswer.list.sort.order	初期ソート方向 < 指定する項目 > ・asc: 昇順 ・desc: 降順

■ [未回答アンケート一覧(ポータル)]画面

キー	説明
bpms.survey.unanswer.for.portal.max.count	1 ページに表示する最大件数を指定する。
bpms.survey.unanswer.for.portal.column.keys	一覧に表示する項目を左から順にカンマ区切りで指定する。 < 指定する項目 > •limit_date: 回答期限 •title: アンケート名
bpms.survey.unanswer.for.portal.column.width	一覧に表示する項目幅を左から順にカンマ区切りで指定する。 < 例 > auto, auto
bpms.survey.unanswer.for.portal.sort.key	初期ソート項目 < 指定する項目 > •limit_date: 回答期限 •title: アンケート名
bpms.survey.unanswer.for.portal.sort.order	初期ソート方向 < 指定する項目 > •asc: 昇順 •desc: 降順

■ [アンケート管理]画面

キー	説明
bpms.survey.questionnaire.admin.list.max.count	1 ページに表示する最大件数を指定する。
bpms.survey.questionnaire.admin.list.column.keys	一覧に表示する項目を左から順にカンマ区切りで指定する。 <指定する項目> ・answerRate: 回答率 ・title: アンケート名 ・delivery_date: 依頼日(配信日) ・limit_date: 回答期限
bpms.survey.questionnaire.admin.list.column.width	一覧に表示する項目幅を左から順にカンマ区切りで指定する。 <例>5%, auto, 15%, 15%
bpms.survey.questionnaire.admin.list.sort.key	初期ソート項目 <指定する項目> ・answerRate: 回答率 ・title: アンケート名 ・delivey_date: 依頼日(配信日) ・limit_date: 回答期限
bpms.survey.questionnaire.admin.list.sort.order	初期ソート方向 <指定する項目> ・asc: 昇順 ・desc: 降順

■ [回答状況一覧]画面

キー	説明
bpms.survey.answer.status.list.max.count	1 ページに表示する最大件数を指定する。
bpms.survey.answer.status.list.column.keys	一覧に表示する項目を左から順にカンマ区切りで指定する。 < 指定する項目 > ・status: 回答状態 ・task_name: タスク ・answer_user: 回答者 ・answer_date: 回答期限
bpms.survey.answer.status.list.column.width	一覧に表示する項目幅を左から順にカンマ区切りで指定する。 < 例 > 10%, auto, 15%, 15%
bpms.survey.answer.status.list.sort.key	初期ソート項目 < 指定する項目 > ・status: 回答状態 ・task_name: タスク ・answer_user: 回答者 ・answer_date: 回答期限
bpms.survey.answer.status.list.sort.order	初期ソート方向 < 指定する項目 > ・asc: 昇順 ・desc: 降順

■ [表示項目設定ヒートマップ]画面

キー	説明
bpms.survey.heatmap.view.select.keys.heatmap	一覧に表示する項目を左から順にカンマ区切りで指定する。 <指定する項目> <ul style="list-style-type: none"> •answer:回答者 •task:タスク •pool:プール •process:プロセス •department:所属 •questionnaire:アンケート

■ [表示項目設定アンケート配信]画面

キー	説明
bpms.survey.heatmap.view.select.keys.delivery	一覧に表示する項目を左から順にカンマ区切りで指定する。 <指定する項目> <ul style="list-style-type: none"> •owner:オーナー •task:タスク •pool:プール •process:プロセス

■ [アンケート配信]画面

キー	説明
bpms.survey.delivery.tab	アンケート配信画面を選択した場合に表示されるデフォルトのタブを指定する。 <指定する項目> <ul style="list-style-type: none"> •process:プロセス •keyword:キーワード検索 •department:組織検索

3.2 BPM|Serverの機能と設定

ここでは、BPM|Server の持つ具体的な機能とその設定項目について説明します。

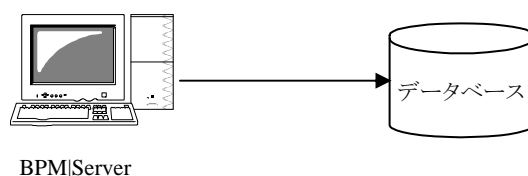
3.2.1 http.xml, ode-axis2.properties

- <% BPM|Server %>/conf/http.xml
- <% BPM|Server %>/conf/ode-axis2.properties

http.xml, ode-axis2.properties では、データベース接続機能についての設定を行います。

3.2.1.1 BPM|Serverデータベース接続設定

BPM|Server は、データベースを使用して、プロセス実行などの機能を提供します。データソースの設定は http.xml で行い、ode-axis2.properties では、データソースの紐付けを行います。



使用するデータベースについては、以下をサポートしています。

データベース
ORACLE
DB2
PostgreSQL

3.2.1.1.1 テーブルの作成

BPM|Server からアクセスするデータベースは、事前に IM-BPM 用のテーブルを作成しておく必要があります。詳細については、別冊「BPM|Server セットアップガイド」の 3 章を参照ください

3.2.1.1.2 設定例

設定例を以下に示します。

■ http.xml の設定例

http.xml の設定例

```
<resin xmlns="http://caucho.com/ns/resin"
  xmlns:resin="http://caucho.com/ns/resin/core">
  ...
  <database>
  <jndi-name>jdbc/BPMSDB</jndi-name>
  <driver>
  <type>oracle.jdbc.pool.OracleConnectionPoolDataSource</type>
  <url>jdbc:oracle:thin:@localhost:1521:orcl</url>
  <user>database-user-id</user>
  <password>password-str</password>
  </driver>
  </database>
  ...
</resin>
```

■ ode-axis2.properties の設定例

ode-axis2.properties の設定例

```
ode-axis2.db.mode=EXTERNAL
ode-axis2.db.ext.dataSource=java:comp/env/jdbc/BPMSDB
ode-axis2.message.replicate.emptytns=true
ode-axis2.dao.factory=org.apache.ode.daohib.bpel.BpelDAOConnectionFactoryImpl
ode-axis2.working.dir=${resin.home}/var
ode-axis2.jca.port=2099
ode-axis2.tx.factory.class=org.apache.ode.axis2.util.TomcatFactory
hibernate.dialect=org.hibernate.dialect.OracleDialect
```


3.2.1.1.3 設定項目

設定項目を以下に示します。

3.2.1.1.3.1 Oracle

- http.xml の設定項目

データソースに関する http.xml の設定項目については、別冊「intra-mart WebPlatform ー設定ガイド(HTTP編)」の 5 章を参照ください。

- ode-axis2.properties の設定項目

hibernate.dialect キーを設定します。

```
...  
hibernate.dialect=org.hibernate.dialect.Oracle10gDialect
```

3.2.1.1.3.2 PostgreSQL

- http.xml の設定項目

データソースに関する http.xml の設定項目については、別冊「intra-mart WebPlatform ー設定ガイド(HTTP編)」の 5 章を参照ください。

- ode-axis2.properties の設定項目

hibernate.dialect キーを設定します。

```
...  
hibernate.dialect=org.hibernate.dialect.PostgreSQLDialect
```

3.2.1.1.3.3 DB2

- http.xml の設定項目

データソースに関する http.xml の設定項目については、別冊「intra-mart WebPlatform ー設定ガイド(HTTP編)」の 5 章を参照ください。

- ode-axis2.properties の設定項目

hibernate.dialect キーを設定します。

```
...  
hibernate.dialect= org.hibernate.dialect.DB2Dialect
```

3.2.2 im-config.properties

- <% BPM|Server %>/conf/im-config.properties

BPM|Server から iWP/iAF へのログイン認証に関する設定ファイルです。

3.2.2.1 ログイン認証

BPM|Server から iWP/iAF へのログイン認証時に使用します。

3.2.2.1.1 設定例

設定例を以下に示します。

im-config.properties の設定例

```
# intra-mart protocol
INTRAMART_HTTP_PROTOCOL=http
# intra-mart_address
INTRAMART_HTTP_ADDRESS=localhost
# intra-mart_port
INTRAMART_HTTP_PORT=8081
# intra-mart_context
INTRAMART_CONTEXT=imart
# Target Date yyyy-MM-dd
TARGET_DATE =
# Default Locale
DEFAULT_LOCALE = ja
```

3.2.2.1.2 設定項目

設定項目を以下に示します。

キー	説明
INTRAMART_HTTP_PROTOCOL	<%IWP_I AF_HTTP_PROTOCOL%>
INTRAMART_HTTP_ADDRESS	<%IWP_I AF_HTTP_ADDRESS%>
INTRAMART_HTTP_PORT	<%IWP_I AF_HTTP_PORT%>
INTRAMART_CONTEXT	<%IWP_I AF_HTTP_CONTEXT%>
TARGET_DATE	認証時に使用する iWP/iAF の情報の基準日。「yyyy-MM-dd」形式で設定します。設定なしの場合は、システム日付となります。 (この設定が有効となるのは、BPM Server から iWP/iAF への認証処理が行われる BPM Server の管理コンソール画面のみです。)
DEFAULT_LOCALE	認証時に使用する iWP/iAF の情報のロケール

3.2.3 logger.xml

- <% BPM|Server %>/conf/log/im_logger.xml
- <% BPM|Server %>/conf/log/im_logger_memory.xml
- <% BPM|Server %>/conf/log/im_logger_network.xml
- <% BPM|Server %>/conf/log/im_logger_bpms.xml

BPM|Server のログ出力に関する設定ファイルです。ログ出力機能に関する詳細な解説については、別冊「intra-mart WebPlatform/AppFramework - ログ設定ガイド」を参照ください。

3.2.3.1 ログ出力

BPM|Server では、以下のログが出力されます。

- ◆ システムログ
- ◆ ネットワークログ
- ◆ メモリログ
- ◆ BPMS ログ

デフォルト値(有効 / 無効)は、ログの種類によって異なります。

ログ種別	識別名	デフォルト値
システムログ	---	info
ネットワークログ	NETWORK_LOG	off
メモリログ	MEMORY_LOG	off
BPMS ログ	---	error warn info debug

ログの出力場所は、以下になります。

- ◆ <% BPM|Server %>/log/platform

3.2.3.1.1 設定項目

- im_logger.xml
- im_logger_memory.xml
- im_logger_network.xml

詳細については、別冊「intra-mart WebPlatform/AppFramework - ログ設定ガイド」の3章及び4章を参照ください。

■ im_logger_bpms.xml

識別名	なし	
設定ファイル	im_logger_bpms.xml	
出力	ファイル	bpms.log
	コンソール	
ログレベルの初期値	error、warn、info、debug	
パターン文字列	説明	初期値
%date	日時	○
%X{log.report.sequence}	ログ出力順序番号	○
%thread	メッセージ通知したスレッドID	○
%X{log.thread.group}	メッセージ通知したスレッドグループ	---
%X{log.id}	ログ ID	○
%msg	メッセージ	○

3.2.4 ode-axis2.properties

■ <% BPM|Server %>/conf/ode-axis2.properties

BPM|Server に組み込まれている BPEL エンジン(Apache ODE)に関する設定ファイルです。

3.2.4.1 データベース設定

Apache ODE が利用するデータベースに関する設定です。

3.2.4.1.1 設定例

設定例を以下に示します。

ode-axis2.properties の設定例

```
ode-axis2.db.mode=EXTERNAL
ode-axis2.db.ext.dataSource=java:/comp/env/jdbc/BPMSDB
ode-axis2.message.replicate.emptyns=true
ode-axis2.dao.factory=org.apache.ode.daohib.bpel.BpelDAOConnectionFactoryImpl
ode-axis2.tx.factory.class=jp.co.intra_mart.bpms.resin.ode.ResinTransactionManagerFactory
ode-axis2.working.dir=${org.apache.ode.configDir}/../
ode-axis2.jca.port=2099
ode-axis2.threads.pool.size=40
ode-axis2.process.dehydration=true
```

3.2.4.1.2 設定項目

設定項目を以下に示します。

キー	説明
ode-axis2.threads.pool.size	プロセスを処理するスレッド数の上限を設定します。 運用環境にあわせて変更を行って下さい。

3.2.4.2 クラスタリング設定

クラスタリング環境を構築する場合の設定です。

3.2.4.2.1 設定例

設定例を以下に示します。

ode-axis2.properties の設定例

```
ode-axis2.clustering.enable=true
ode-axis2.cluster.port=7771
ode-axis2.cluster.group=224.5.6.7
ode-axis2.cluster.listen.addr=192.168.0.1
```

3.2.4.2.2 設定項目

設定項目を以下に示します。

キー	説明
ode-axis2.clustering.enable	true を設定することによりクラスタリング機能が有効化されます。
ode-axis2.cluster.port	BPM Server では multicast を利用しクラスタ間の通信を行います。multicast で利用する為のポート番号を設定します。
ode-axis2.cluster.group	multicast で利用するグループを指定します。
ode-axis2.cluster.listen.addr	multicast でリスンする IP アドレスを指定します。ネットワークグループ内で参照可能な IP アドレスを指定します。

3.2.4.3 HTTP通信設定

クラスタリング環境を構築する場合の設定です。

3.2.4.3.1 設定例

設定例を以下に示します。

ode-axis2.properties の設定例

```
ode-axis2.http.connection-manager.max-per-host=2
ode-axis2.http.connection-manager.max-total=20
ode-axis2.http.idle.connection.timeout=30000
ode-axis2.http.idle.connection.check.interval=30000
```

3.2.4.3.2 設定項目

設定項目を以下に示します。

キー	説明
ode-axis2.http.connection-manager.max-per-host	ホスト辺りの最大接続数を設定します。
ode-axis2.http.connection-manager.max-total	全体での HTTP 最大接続数を設定します。
ode-axis2.http.idle.connection.timeout	コネクションタイムアウト時間を設定します。(ミリ秒)
ode-axis2.http.idle.connection.check.interval	コネクションの確認間隔を設定します。(ミリ秒)

3.3 分散環境における機能と設定

ここでは BPM|Server を分散環境で構築した際に必要となる設定項目について説明します。

3.3.1 分散環境における設定

BPM|Server は同一ネットワーク上の他の BPM|Server を UDP を通じて認識し、クラスタリング環境を構築します。BPM|Server を構築するサーバは UDP 通信が行える環境である必要があります。セキュリティソフト、ファイアウォール等により、UDP の通信が許可されていない場合は、UDP 通信が行えるよう設定を変更する必要があります。

BPM|Server はデフォルトで 7771 ポート、224.5.6.7 グループを使用し UDP 通信を行います。また、BPM|Designer により作成、デプロイされるプロセス情報は NAS を通じて共有化を行います。尚、各 BPM|Server 上から参照される NAS の共有ディスクのパスは全ての BPM|Server 上で同じパスにする必要があります。

3.3.2 ode-axis2.properties

- <% BPM|Server %>/conf/code-axis2.properties

ode-axis2.properties では、BPEL エンジンに関するクラスタリングの設定を行います。

3.3.2.1.1 設定例

必ず、ode-axis2.cluster*項目の設定を行う必要があります。デフォルトでは全てコメントアウトされています。

設定例を以下に示します。

ode-axis2.properties 設定例

```
# Uncomment for clustering
ode-axis2.clustering.enable=true
ode-axis2.cluster.port=7771
ode-axis2.cluster.group=224.5.6.7
ode-axis2.cluster.listen.addr=192.168.0.1
...
```

3.3.2.1.2 設定項目

設定項目を以下に示します。

キー	説明
ode-axis2.clustering.enable	分散環境を構築する場合 true を指定します。
ode-axis2.cluster.port	他の BPM Server に対し送信、受信を行う UDP のポート番号を指定します。
ode-axis2.cluster.group	UDP 送信先のマルチキャストグループを指定します。
ode-axis2.cluster.listen.addr	UDP を LISTEN する為のアドレスを指定します。通常、BPM Server の IP アドレスを指定します。

3.3.3 cluster-config.xml

- <% BPM|Server %>/conf/cluster-config.xml

クラスタリングを行う実装クラスの指定を行います。

3.3.3.1.1 設定例

デフォルトでは全てコメントアウトされています。

コメントを外し、クラスタリングの為の設定を行って下さい。

設定例を以下に示します。

cluster-config.xml 設定例

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!DOCTYPE beans PUBLIC "-//SPRING//DTD BEAN//EN" "http://www.springframework.org/dtd/spring-beans.dtd">
<beans>
  <bean id="clusterConfig" class="org.intalio.deploy.deployment.impl.clustering.QuorumBasedCluster">
    <property name="groupName" value="intalio"/>
    <property name="serverId" value="server-01"/>
    <property name="clusterSize" value="3"/>
  </bean>
</beans>
```

3.3.3.1.2 設定項目

設定項目を以下に示します。

キー	説明
groupName	クラスタリングを行う為のグループ名を指定します。 通常、変更する必要はありません。 同一ネットワーク上に複数のクラスタ環境を構築する場合、必ずクラスタ毎に一意となるグループ名を指定して下さい。
serverId	クラスタリングを行うサーバ間で一意となるサーバ ID を指定します。 後述する http.xml に指定するシステムプロパティ (org.intalio.deploy.serverId) と同一のサーバ ID を指定する必要があります。
clusterSize	クラスタリングを行うサーバ(ノード)数を指定します。

3.3.4 deploy-service.xml

- <% BPM|Server %>/conf/deploy-service.xml

分散環境におけるデプロイ処理、及びデプロイされたファイルを管理する為の設定を行います。

3.3.4.1.1 設定例

設定例を以下に示します。

cluster-config.xml 設定例

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!DOCTYPE beans PUBLIC "-//SPRING//DTD BEAN//EN" "http://www.springframework.org/dtd/spring-beans.dtd">
<beans>
  <bean id="deploymentService" class="org.intalio.deploy.deployment.impl.DeploymentServiceImpl">
    <property name="deployMBeanServer" ref="deployMBeanServer" />
    <property name="scanPeriod" value="5" />
    <property name="requiredComponentManagers">
      <list>
        <value>database</value>
        <value>gi</value>
        <value>ode</value>
        <value>pipa</value>
        <value>xform</value>
        <value>webreport</value>
        <value>emc</value>
      </list>
    </property>
    <property name="deployDirectory" value="/var/ode/deploy" />
  </bean>
  <bean id="deployMBeanServer" class="org.intalio.deploy.deployment.impl.DefaultDeployMBeanServer" />
</beans>
```

3.3.4.1.2 設定項目

設定項目を以下に示します。

キー	説明
scanPeriod	デプロイフォルダの監視間隔を指定します。 (秒) 通常、この値を変更する必要はありません。
deployDirectory	デプロイが行われたファイルを格納するためのパスを指定します。 分散環境を構築する場合、このパスにはNASのパスを指定します。 デフォルトではコメントアウトされています。 分散環境構築時には設定を有効化して下さい。

3.3.5 http.xml

- <% BPM|Server %>/conf/http.xml

http.xml では、クラスタリングに必要なサーバ情報の設定を行います。

3.3.5.1 デプロイフォルダ、作業フォルダ設定

分散環境時には、各 BPM|Server は同一のデプロイフォルダ、作業フォルダを参照します。

3.3.5.1.1 設定例

設定例を以下に示します。

http.xml 設定例

```
<resin xmlns="http://caucho.com/ns/resin"
  xmlns:resin="http://caucho.com/ns/resin/core">

  <system-property org.intalio.deploy.serverId="server-01" />
  <system-property org.intalio.tempo.configDirectory="${resin.home}/conf" />
  <system-property com.intalio.bpms.configDirectory="${resin.home}/conf" />
  <system-property org.apache.ode.configDir="${resin.home}/conf" />
  <system-property org.intalio.deploy.configDirectory="${resin.home}/conf" />
  <system-property java.io.tmpdir="${resin.home}/temp" />
  <system-property ode.connection.isolation="2" />
  ...
</resin>
```

3.3.5.1.2 設定項目

設定項目を以下に示します。

キー	説明
org.intalio.deploy.serverId	クラスタリングを行うサーバ間で一意となるサーバ ID を指定して下さい。 前述の cluster-config.xml ファイルに指定するサーバ ID と同一の値を指定する必要があります。

3.4 パフォーマンスに関する機能と設定

ここでは BPM|Server のパフォーマンスチューニングに関する設定項目について説明します。

3.4.1 ode-axis2.properties

- <% BPM|Server %>/conf/code-axis2.properties

ode-axis2.properties では、BPEL エンジンを実行する際の設定を行います。

3.4.1.1 同時実行スレッド

BPEL エンジンがプロセスを処理する為に保持している実行スレッド数を設定します。

3.4.1.1.1 設定例

設定例を以下に示します。

ode-axis2.properties 設定例

```
ode-axis2.db.mode=EXTERNAL
ode-axis2.db.ext.dataSource=java:comp/env/jdbc/BPMSDB
ode-axis2.tx.factory.class=org.apache.ode.axis2.util.TomcatFactory
ode-axis2.message.replicate.emptyns=true
ode-axis2.dao.factory=org.apache.ode.daohib.bpel.BpelDAOConnectionFactoryImpl
ode-axis2.working.dir=/your/shared/dir
ode-axis2.jca.port=2099
ode-axis2.threads.pool.size=40

ode-axis2.clustering.enable=true
ode-axis2.cluster.port=7771
ode-axis2.cluster.group=224.5.6.7
ode-axis2.cluster.listen.addr=192.168.0.1
...
```

3.4.1.1.2 設定項目

設定項目を以下に示します。

キー	説明
ode-axis2.threads.pool.size	プロセスを処理する際の実行スレッド数を設定します。 デフォルトは 40 です。

3.4.2 http.xml

- <% BPM|Server %>/conf/http.xml

Application Server に関する設定を行います。

3.4.2.1 データソースの設定

BPEL エンジンがプロセスを処理する際にデータベースへのアクセスが発生します。

プロセスを処理するスレッド数にあわせて適切なデータベースコネクション数を設定することによりパフォーマンスの改善を図ることが可能です。

3.4.2.1.1 設定例

設定例を以下に示します。

http.xml 設定例

```
<database>
  <jndi-name>jdbc/BPMSDB</jndi-name>
  <driver>
    <type>oracle.jdbc.pool.OracleConnectionPoolDataSource</type>
    <url>jdbc:oracle:thin:@localhost:1521:orcl</url>
    <user>bpmsdb</user>
    <password>bpmsdb</password>
  </driver>
  <prepared-statement-cache-size>8</prepared-statement-cache-size>
  <max-connections>20</max-connections>
  <max-idle-time>30s</max-idle-time>
</database>
```

3.4.2.1.2 設定項目

設定項目を以下に示します。

キー	説明
max-connections	データベースコネクションの最大接続数を設定します。

3.4.3 imart.xml

- <% BPM|Server %>/conf/imart.xml

imart.xml では、BPM|Server 起動時における設定を行います。

3.4.3.1.1 設定例

設定例を以下に示します。

imart.xml 設定例

```

...
<java>
  <home>C:/java/jdk1.6.0_12</home>
  <server>
    <memory>
      <xms size="128" unit="m" />
      <xmx size="512" unit="m" />
    </memory>
    <command>
      <exefile>C:/java/jdk1.6.0_12/bin/java</exefile>
      <option>-cp %SYSTEMCLASSPATH% -Xms%XMS% -Xmx%XMX% -Djava.awt.headless=true
-Dfile.encoding=UTF-8 -XX:MaxPermSize=256m -XX:PermSize=32m -Xss1m</option>
      <argument/>
    </command>
  </server>
  <compiler>
    <class>
      <archive>
        <file/>
      </archive>
    </class>
  </compiler>
</java>
...

```

3.4.3.1.2 設定項目

設定項目を以下に示します。

キー	説明
xms	size 属性にはヒープサイズの最小値を指定します。 unit 属性には単位を指定します。
xmx	size 属性にはヒープサイズの最大値を指定します。 unit 属性には単位を指定します。

3.5 BAM|ダッシュボードの設定

BAM|ダッシュボード機能は、デフォルトでフレーム内に表示されるよう設定されています。

但し、ブラウザにIEを利用した場合、かつセキュリティゾーンがインターネットゾーン以外の場合、BAM|ダッシュボードをフレーム内に表示するとCookieの制限の為、Intalio ログイン画面が表示される場合があります。

ログイン画面が表示される場合は、セキュリティゾーンをイントラネット、または信頼済みのサイトに変更する事によりログイン画面が表示される問題を回避する事が可能です。

また、BAM|ダッシュボードをフレーム内ではなく、ポップアップウィンドウで表示させる事により、インターネットゾーンでもログイン画面に表示される事がなくなります。

BAM|ダッシュボード機能をポップアップウィンドウで表示させる為には、グループ管理者画面より、BAM|ダッシュボードメニュー設定に引数を追加します。

メニュー設定画面より、BAM|ダッシュボードを選択後、引数を追加します。

3.5.1 設定項目

設定項目を以下に示します。

キー	値
openNewWindow	true



設定を更新する事により、BAM|ダッシュボード機能はポップアップで表示されるようになります。

3.6 クーロンベースのクリーンアップ機能と設定

プロセスインスタンスの情報はプロセスが実行されるたびにデータベースに大量に蓄積されていきますが、定期的にデータのクリーンアップを行うことでデータ蓄積によるパフォーマンスの低下を防ぐことができます。IM-BPM では、実行済データをクリーンアップする方法として、以下の2つの機能を提供しています。

- ① システムのクーロンベースのクリーンアップ機能 (BPM|Server 側で設定)
- ② プロジェクト・またはプロセス単位で設定するクリーンアップ機能 (BPM|Designer 側で設定)
 ※詳細は「BPM|Designer 操作ガイド 2.15.1 データのクリーンアップ」をご参照ください。

スケジュールを登録して一定時間毎にクリーンアップ処理を実行する場合は①の機能を使用し、プロセスが終了した時点で都度クリーンアップ処理を実行する場合は、②の機能を使用します。

3.6.1 schedules.xml

- <% BPM|Server %>/conf/schedules.xml

schedules.xml ではクリーンアップ処理に関する設定を行います。

3.6.1.1 設定例

```
<sched:schedules
  xmlns:sched="http://www.apache.org/ode/schemas/schedules/2009/05"
  xmlns:dd="http://www.apache.org/ode/schemas/dd/2007/03">

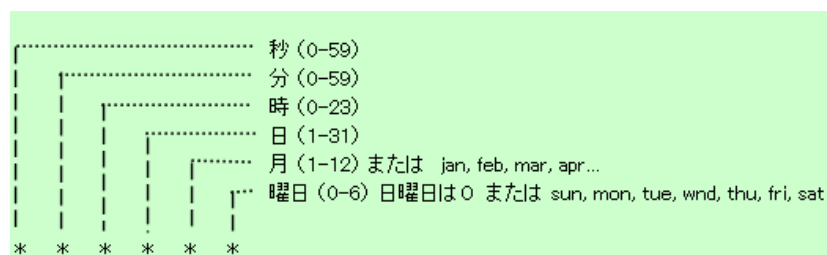
  <sched:schedule when="0 45 * * * ?">
    <sched:cleanup>
      <dd:filter><![CDATA[status=completed|terminated|failed
namespace=http://example.com/testProcess/Test]]></dd:filter>
      <dd:filter><![CDATA[last_active<-1M]></dd:filter>
    </sched:cleanup>
  </sched:schedule>
</sched:schedules>
```

上記は毎時 45 分ごとに、「条件 1」または「条件 2」に該当するプロセスインスタンス情報を削除する設定です。
 条件 1. 名前空間が http://example.com/testProcess/Test でプロセスステータスが completed, terminated, failed のプロセスインスタンス
 条件 2. 最終活動日が 1 ヶ月より前のプロセスインスタンス

3.6.1.2 設定項目

<sched:schedule> スケジュールの構成.

when 属性にクリーンアップ処理の実行時間を設定します。書式は以下の通りです。



└ <sched:cleanup> クリーンアップの構成

└ <dd:filter> クリーンアップの構成フィルタ

pid	プロセス ID pid={ http://example.com/HelloWorld/HelloWorld }HelloWorld-2
namespace	名前空間 namespace=http://example.com/HelloWorld/HelloWorld
name	プロセス名 name=HelloWorld-2
status	ステータス(active, suspended, completed, terminated,failed を指定) パイプ" "で連結して複数指定が可能 status=completed terminated
started	プロセスインスタンスの開始日時 1 年前: started<=-1y 3 ヶ月前: started<-3M 1 週間前: started<-1w 1 日前: started<-1d 12 時間前 started<-12h 30 分前: started<-30m 60 秒前: started<-60s 12 時間前: started<-12h 2000 年より前: started<2000 2000 年 7 月より前: started<2000-07 2000 年 7 月 15 日より前: started<2000-07-15 2000 年 7 月 15 日 19 時 20 分 30 秒(日本標準時)より前: started<2000-07-15T19:20:30+09:00
last_active	プロセスインスタンスの最終活動日 書式は started と同様

3.6.1.3 設定上の注意点

- last_active に不適切な値を設定した場合、ロックタイムアウトやデッドロックの原因になる可能性があります。
ロックタイムアウトまたはデッドロックが起きてしまった場合は、last_active フィルタを追加して適度に大きな値(-1m ~ -1d くらい)を設定してみてください。
- クローンベースのクリーンアップ機能は、データベース集約型のバッチ操作です。処理時にトランザクションのタイムアウトが発生してしまった場合は、http.xml のデータベースの設定で大きめの値をトランザクションタイムアウト値に設定してみてください。

設定例

```
<database>
  <jndi-name>jdbc/BPMSDB</jndi-name>
  .....
  <prepared-statement-cache-size>8</prepared-statement-cache-size>
  <max-connections>20</max-connections>
  <max-idle-time>30s</max-idle-time>
  <transaction-timeout>300</transaction-timeout>
</database>
```

intra-mart WebPlatform/AppFramework Ver. 7.2
BPM|Server 設定ガイド

2010/04/01 初版

Copyright 2000-2010 株式会社NTTデータ イントラマート
All rights Reserved.

TEL: 03-5549-2821

FAX: 03-5549-2816

E-MAIL: info@intra-mart.jp

URL: <http://www.intra-mart.jp/>